

# 附 表

安政 4年	1857年	大島高任、大橋で我が国初めての洋式高炉を建設。同年12月1日、出銘に成功。
明治 6年	1873年	釜石と小白浜に郵便局開局。釜石小学校創立。
明治 7年	1874年	官営釜石製鐵所の建設始まる。
明治 13年	1880年	工部省釜石鉄道（釜石港一大橋鉱山間）が開通。
明治 16年	1883年	官営釜石製鐵所が廃業。釜石で大火、600軒焼失。
明治 17年	1884年	田中長兵衛、釜石鉱山の再興に着手。
明治 19年	1886年	吹入49回で出銘に成功。高橋亦助の功績顯著。
明治 22年	1889年	平田村と釜石村が合併し、釜石町となる。
明治 29年	1896年	三陸沿岸に大津波が来襲。死者6,724人。
明治 44年	1911年	釜石鉱山専用鉄道（大橋一鈴子間）が開通。
大正 2年	1913年	釜石電気株式会社が開業。仙人峠で鉄索運搬開始。
大正 4年	1915年	岩手軽便鉄道（花巻一仙人峠間）が全通。
大正 9年	1920年	県水産試験場が宮古から釜石に移設される。町立釜石実科高等女学校が開校。
大正 13年	1924年	田中鉱山株式会社が三井の經營下となる。笛吹峠経由による釜石—遠野間の自動車運行始まる。
昭和 5年	1930年	昭和園グラウンドが開場。
昭和 8年	1933年	三陸大津波来襲、死者160人、行方不明243人。町立釜石商業学校が開校。
昭和 9年	1934年	釜石港が開港場となる。日本製鉄株式会社設立により日鉄釜石製鐵所が発足。
昭和 12年	1937年	市制施行、人口4万388人、世帯数7,700。須賀の埋立て工事、防波堤工事が完了。
昭和 14年	1939年	市立釜石工業学校開校。山田線全通。釜石駅開業。
昭和 16年	1941年	県立釜石中学校開校。太平洋戦争勃発。NHK釜石放送局がラジオ放送を開始。
昭和 20年	1945年	二度にわたる艦砲射撃を受け、死者700余人、重軽傷者327人、全焼家屋2,930戸、全壊家屋180戸。
昭和 22年	1947年	六・三制による新制中学校ができる。天皇陛下全国御巡行、釜石にお立ち寄りになる。
昭和 23年	1948年	アイオン台風で山田線不通となる。
昭和 25年	1950年	国鉄釜石線全通。日本製鉄（株）の分割により、富士製鐵（株）釜石製鐵所が発足。
昭和 26年	1951年	釜石港が重要港湾に指定される。
昭和 30年	1955年	釜石市、甲子村、鵜住居村、唐丹村、栗橋村の1市4村が合併。
昭和 32年	1957年	公共下水道工事始まる。橋野町高炉跡が国の重要文化財に指定。
昭和 33年	1958年	橋上マーケットが完成。75店舗が出店。
昭和 34年	1959年	仙人有料道路が開通。中妻地区土地区画整理事業始まる。平和都市宣言を決議。
昭和 35年	1960年	チリ地震津波来襲、被害総額6億3千万円。
昭和 38年	1963年	県立釜石北高等学校創立。釜石高等学校を釜石南高等学校に改める。住民基本台帳人口過去最高の92,123人となる。
昭和 39年	1964年	釜石が陸中海岸国立公園に編入。
昭和 40年	1965年	釜鉄社線が撤去、86年の歩みに終止符。
昭和 43年	1968年	十勝沖地震で6億円に及ぶ被害。市営プール完成。
昭和 44年	1969年	国道45号線石塚、鳥谷坂トンネルが開通。
昭和 45年	1970年	第25回岩手国体開催。富士製鐵と八幡製鐵が合併、新日本製鐵となる。公共埠頭が完成。
昭和 47年	1972年	勤労福祉センター完成。老人福祉センター完成。
昭和 48年	1973年	和山市營牧場の造成事業が始まる。特別養護老人ホーム「清風園」が完成。
昭和 49年	1974年	昭和天皇・皇后両陛下が全国植樹祭にご出席の途中釜石にお立ち寄りになる。
昭和 50年	1975年	釜石市民憲章制定。市の花・木・鳥も決まる。
昭和 51年	1976年	浜町で戦後最大の大火発生。
昭和 52年	1977年	新日鐵釜石ラグビー部、初の日本一となる。
昭和 53年	1978年	湾口防波堤の建設事業に着手。市民文化会館完成。公共下水道の処理開始。
昭和 54年	1979年	新清掃工場が完成。働く婦人の家オープン。

昭和 56年	1981年	新市民病院が完成。三陸鉄道株式会社が発足。
昭和 57年	1982年	湾口防波堤の第1号ケーソン設置。鈴木首相来釜。
昭和 58年	1983年	新図書館完成。市営釜石ビル完成。
昭和 59年	1984年	三陸鉄道開業。富山県朝日町と友好親善都市に。
昭和 60年	1985年	鉄の歴史館オープン。樅の木平牧場完工。釜石製鐵所第二高炉休止。新日鐵釜石ラグビー部、V7達成。
昭和 61年	1986年	非核平和都市宣言。釜石製鐵所創業百周年。
昭和 62年	1987年	東前町から馬田岬方面にかけて山林火災。市制施行50周年。全国勤労者釜石駅伝大会開催。
昭和 63年	1988年	国道45号釜石バイパス開通。
平成 元年	1989年	釜石製鐵所の第一高炉休止。根浜サンドクラフトフェスティバル開催。放射性廃棄物の持込み等に関する宣言。
平成 2年	1990年	海洋バイオテクノロジー研究所オープン。釜石市総合振興計画策定。第1回はまゆりトライアスロン開催。
平成 3年	1991年	沿岸地区運転免許センター開設。新仙人トンネル国直轄事業に盛り込まれる。
平成 4年	1992年	三陸・海の博覧会主会場、大成功のうちに閉幕。3会場入場者数2,005,281人（釜石会場1,324,594人）
平成 5年	1993年	釜石信用金庫の解散譲渡。仙人峠道路新ルート決定。
平成 6年	1994年	仏・ディーニュ市と姉妹都市締結。鉄の歴史館新装オープン。岩手県水産技術センター開所。三陸地方拠点都市の指定。テレトピアモデル都市の指定。
平成 7年	1995年	仙人峠道路詳細ルート発表、管理用道路工事着手。
平成 8年	1996年	第68回選抜高校野球大会・釜石南高等学校が甲子園初出場。釜石駅周辺整備事業・物産センター「シープラザ釜石」完成。住民基本台帳人口5万人を割る。（平成8年3月末現在49,729人）
平成 9年	1997年	全国豊かな海づくり大会で天皇・皇后両陛下來釜。新日鐵釜石、東北電力と電力供給契約締結。
平成 10年	1998年	新日鐵釜石、石炭火力発電所の建設に着手。バスサンデー号運行開始。いとさかしき坂路仙人峠道路起工式が行われる。
平成 11年	1999年	米軍機、橋野町の山林に墜落。インターハイなぎなた競技開催。新日鐵釜石、火力発電設備に火入れ。
平成 12年	2000年	JR釜石線全線開通50周年。新日鐵釜石、火力発電所電力供給開始。
平成 13年	2001年	釜石シーウェイブスRFC 地域共生型クラブチームとして発足。
平成 14年	2002年	台風6号の記録的豪雨による大災害。松原町の土砂崩れで2人死亡。仙人トンネル本坑（4485m）が貫通。マイカル釜石店が5月末で閉店。
平成 15年	2003年	橋上市場が閉店、45年の歴史に幕。釜石港が国土交通省からリサイクルポート指定を受けた。三陸南地震により釜石で震度5強を記録。
平成 16年	2004年	釜石魚市場の03年度の水揚げ高は35年ぶりに30億円を割り込んだ。釜石市の高齢化率が30%を越した。トーメンパワー釜石が釜石市和山等に設置した風力発電施設が完成、運転を開始。
平成 17年	2005年	大渡橋の架け替え工事が完成。釜石南高と釜石北高の平成19年度統合が決定される。新日鐵釜石製鐵所の線材の累計生産量が2千万トン達成。
平成 18年	2006年	三大基盤整備の一つ、釜石港湾口防波堤が概成。「かまいし健康ルネサンス構想」が地域再生計画に認定される。
平成 19年	2007年	新仙人峠道路開通。 釜石市制施行70周年・近代製鉄発祥150周年を迎える。
平成 20年	2008年	新青葉ビルオープン。 釜石南高校と釜石北高校が統合し、新たに釜石高校が発足した。